

第56回全日本大学男子選手権大会

令和3年9月11日(土)~13日(月) 富山県富山市 / 富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場

日本体育大 (東京)



2年ぶり32度目のインカレ制覇!

日ソ協記録委員 下村 征二

標記大会は新型コロナウイルス感染症の影響により昨年「開催中止」を余儀なくされ(※インカレの開催は残念ながら叶わなかったが、その「代替大会」として10月31日・11月1日の両日、同会場で「全国大学選抜選手権大会」(全国から16チームが参加し、覇が競われた)が開催された)、今年2年ぶりの開催となった。

未だ続くコロナ禍にあつて、無観客開催。という制約付きになりはしたものの、全日本大学連盟、大学スポーツ協会(UNIVAS)、富山県協会、地元自治体、地元関係各位の皆様のご支援・ご協力により、3日間にわたり熱戦を展開。無事全日程を終了することができた。

激戦を勝ち上がりベスト4に名乗りを上げたのは、日本男子ソフトボール次代のエース・小山玲央を擁し、2017年第52回大会から貫禄の3連覇(※昨年の代替大会も制した)、その小山は卒業したものの、チームの「総合力」で「優勝候補筆頭」に挙げられる日本体育大(東京)。「打線に「底力」があり、2回戦・準々決勝と先手を取られながらも粘り強い戦いで勝ち上がってきた中京大(愛知)。「エース」中島翼を投打の軸に据え、2005年第40回大会以来の決勝進出へ意気込む国際武道大(千葉)。「大会屈指の左腕」

海邊和也を大黒柱に初のインカレ制覇に向けて突き進む福岡大(福岡)。以上の4チームが最終日、大学日本一の座をかけた戦いに挑んだ。

〈準決勝〉

中京大

000100
200042x
8

日本体育大

※大会規程により6回得点差コールド

(中) ●湯浅・守屋―産屋敷

(日) ○野本―藤原

▽困佐々木(中) 倉見(日)

■古敷敦(日) ■古敷敦(日)

(審) P倉田 1山下 2水井 3岡田

(記) 石田

後攻の日本体育大は初回、1番・古敷谷がいきなりスリーベースヒットを打ち、チャンスメイク。続く2番・榎のライトへの犠牲フライで早々と1点を先取すると、さらに二死後、4番・倉見が鮮やかな中越ソロホームラン! 「頼れるキャプテン」の一発でこの回2点目を挙げた。日本体育大は4回表に1点を返されたが、5回裏にも5安打を集中して一挙4点を追加。6回裏には一死二・三塁から3番・渋谷の犠牲フライ、当たっている4番・倉見に再びタイムリーが飛び出し、2点を加

え、7点差となったことで6回得点差
コールドが成立することになり、決勝
進出を決めた。

一方、中京大は2点を追う4回表に
この回先頭の3番・佐々木が右中間へ
ソロホームラン。日本体育大を一時ヒ
ヤッとさせる場面もあったが、その後
投手陣が踏ん張れず、最終的には大差
で敗れ、準決勝敗退となった。

〈準決勝〉

福岡大

0065 11
0000 0

国際武道大

※大会規程により4回得点差コールド

(福) ○海邊一野上
(国) ●中島・与那嶺・中島・関根・
田中一西浦

▽困堀内、根津(福)

▽西浦(国)
▽山下、平山、野上(福)

(審) P 笹野 1原井 2金平 3宝田
(記) 林

初回、2回と両チーム得点を挙げら
れず、迎えた3回表、福岡大は一死か
ら9番・成崎がショート内野安打で出
塁。これが猛攻の口火となり、ここか
ら5本の長短打を集中！この回大量
6点を奪い、試合の主導権を握ると、

続く5回表にも3番・堀内のスリーラ
ン、4番・根津のソロホームラン等
「怒涛の攻撃」で一挙5点を追加。昨
年の代替大会／準決勝同様「地方の違
い」を見せつけ、4回コールド勝ちで
国際武道大を一蹴した。

国際武道大はエース・中島を先発に
立て必勝を期したが、序盤福岡大打線
につかまり、試合を作れず……。打線
も福岡大・海邊の前にわずか2安打と
抑え込まれ、投打に完敗を喫し、16年
ぶりの決勝進出はならなかった。

《決勝》

福岡大

0100000 1
000013x 4

日本体育大

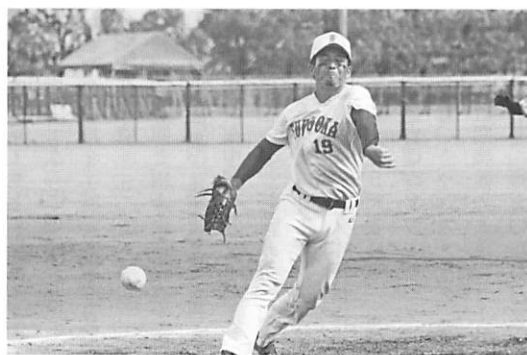
(福) ●海邊一野上
(日) ○野本一藤原

▽古敷谷、渋谷(日)
(審) P 花木 1丸田 2笹原 3二塚
(記) 曾田

福岡大は2回表、2本の安打、ワイ
ルドピッチ等で一死二・三塁のチャン
スを作り、8番・野上のセカンドへの
当たりがフィールドアスチオイスとなる
間に1点を先制。

その後、福岡大・海邊、日本体育
大・野本の両先発投手が一步も譲らず

投げ合い、1-0と福岡大がリードを
奪ったまま試合は終盤に入った。



両投手が熱投！決勝にふさわしい「見応えのある展開」に

迎えた5回裏、日本体育大は一死か
ら6番・中原のバントヒット、7番・
細川のライト線へのヒットで一・三塁
とすると、8番・新井がレフトへ犠牲
フライを打ち上げ、同点。続く6回裏
にも一死から連打、故意四球で満塁と
攻め立て、5番・西本の「初球」を狙
い打つ2点タイムリリーで勝ち越しに成
功！二死後、7番・細川にもライト
前タイムリーが飛び出し、この回大き
な3点目を加えた。

守っては、先発登板した野本が3回
以降福岡大打線に得点を許さず、被安
打4・奪三振9の投球内容で完投勝利。
決勝戦にふさわしい「見応えのある好
ゲーム」を制し、2年ぶり32度目のイ
ンカレ優勝を飾った。

第56回全日本大学男子選手権大会

1	日本体育大	13	12	5	8	4	1	1	11
2	大阪大学	0	7	0	3	15	8	3	4
3	京大	7	0	3	0	4	1	0	3
4	東大	3	7	1	6	1	2	0	0
5	阪大	0	0	8	8	3	0	7	0
6	立命館大	7	0	2	0	1	0	0	0
7	京大	0	8	4	0	0	0	0	0
8	中京大	3	0	1	0	0	0	0	0
9	神大	0	0	0	0	0	0	0	0
10	京大	0	0	0	0	0	0	0	0
11	九州大	0	0	0	0	0	0	0	0
12	本学	0	0	0	0	0	0	0	0
13	仙台大	0	0	0	0	0	0	0	0
14	熊本大	0	0	0	0	0	0	0	0
15	東海大	0	0	0	0	0	0	0	0
16	高知大	0	0	0	0	0	0	0	0
17	九州大	0	0	0	0	0	0	0	0
18	国九	0	0	0	0	0	0	0	0
19	国九	0	0	0	0	0	0	0	0
20	信州大	0	0	0	0	0	0	0	0
21	関大	0	0	0	0	0	0	0	0
22	徳富大	0	0	0	0	0	0	0	0
23	富城大	0	0	0	0	0	0	0	0
24	福岡大	0	0	0	0	0	0	0	0
25	城西大	0	0	0	0	0	0	0	0
26	岐阜大	0	0	0	0	0	0	0	0
27	聖徳大	0	0	0	0	0	0	0	0
28	国際大	0	0	0	0	0	0	0	0
29	慶応大	0	0	0	0	0	0	0	0
30	都立大	0	0	0	0	0	0	0	0
31	神大	0	0	0	0	0	0	0	0
32	早稲田大	0	0	0	0	0	0	0	0